**Ｈ２Ｏｓａｋａビジョン推進会議　第17回会議　議事要旨**

**日　時**：令和6年７月19日（金）午後３時～午後５時

**場　所**：大阪市環境局第１・第２会議室及びWEB

**出席者**：（会長）

（敬称略）　　　秋元圭吾（公益財団法人地球環境産業技術研究機構）

　　　　　　　　　（構成団体）

(株)池田泉州銀行、一般財団法人大阪科学技術センター（OSTEC）、エア・ウォーター(株)、

大阪ガス(株)、(株)大林組、オリックス(株)、(株)加地テック、川崎重工業(株)、関西エアポート(株)、関西電力(株)、(株)関西みらい銀行、鴻池運輸(株)、積水ハウス(株)、大和ハウス工業(株)、

(株)竹中工務店、帝人エンジニアリング(株)、東芝エネルギーシステムズ(株)、日本製鉄(株)、

パナソニック(株)、日立造船(株)、丸紅(株)、三井化学(株)、三菱重工(株)、(株)三菱UFJ銀行、(株)りそな銀行

（事業別研究会座長）

水上モビリティ研究会座長、陸上モビリティ研究会座長

　　　　　　（オブザーバー）

近畿経済産業局、（公社）関西経済連合会、（公社）2025年日本国際博覧会協会、

 (独法)日本貿易振興機構

　　　　　（事務局）

大阪府商工労働部成長産業振興室産業創造課、大阪市環境局環境施策部環境施策課、

堺市環境局カーボンニュートラル推進部環境エネルギー課

**議事要旨**

　**議題１　「推進会議の取組」**

■資料１に沿って説明

◆今年度の推進会議の進め方について（大阪府説明）

・大阪府域における水素等の需要ポテンシャルや実装に向けた課題等について整理し、万博のインパクトを活用した水素利用の定着と拡大に関する取組みの具体化について意見交換を行うことで、万博後のプロジェクト創出・事業化につなげることを目指す。

◆陸上モビリティ研究会について（座長説明）

・バス以外の陸上モビリティにも拡大したことを踏まえ、陸上モビリティの開発等の動向や会員アンケート等により開催テーマを設定し、関係する企業等に参画を打診したうえで、意見交換を実施する。

◆水上モビリティ研究会について（座長説明）

・水上モビリティの開発等の動向や会員アンケート等により開催テーマを設定し、関係する企業等に参画を打診したうえで、意見交換を実施する。

◆社会受容性の向上について（大阪市・堺市説明）

* 大阪市では小中学校や地域イベントでFCVを活用するなど、あらゆる機会で水素の社会受容性の向上に取り組んでいる。また、舞洲において大阪ガス株式会社が実施する「既存のインフラを活用した水素供給低コスト化に向けたモデル構築実証事業」を通じて、新たな水素活用技術についてPRをしていく。
* 堺市ではZEVを中心とした電動車の普及や水素エネルギーの利活用に向けた在堺トヨタ各社との連携協定に基づき、オートテストイベント等でFCVを活用した啓発を実施。またFCVのほか、エネファームを含むZEHの支援を通じて、FCV等の導入促進について取り組む。

**議題２「国の動向や取組」**

■資料２に沿って、資源エネルギー庁　省エネルギー・新エネルギー部　水素・アンモニア課　村端　歩 氏より説明

【質疑応答】

（質問）

水素社会推進法では低炭素水素の基準が現時点では未定ということだが、今後、国際的な競争やルールの策定後に明らかになるのか。

　　　（回答）

世界各国に比べて遜色のない数値を日本としても設定していくことが重要という風に考えており、各国と足並みを揃えつつ、日本が先行して基準を取る、例えば、ISO規格等に反映させるなど、引続き検討していく。

**議題３「EXPO2025 グリーンビジョンに基づく取組」**

■資料３に沿って、公益社団法人２０２５年日本国際博覧会協会　企画局 持続可能性部 脱炭素課

西村　宏 氏より説明

**議題４「水素関連事業者の取組」**

■資料４-１に沿って大阪ガス株式会社　ガス製造・エンジニアリング事業部　エンジニアリング部　カーボンニュートラルメタン開発チーム　伊藤　大樹　氏より説明

■資料４-２に沿って　三浦工業株式会社　近畿統括部　大阪MI営業1部　小峰　進悟　氏より説明

■資料４-３に沿って　株式会社BIOTECWORKS-H2　CEO　西川　明秀　氏より説明

【質疑応答】

（質問）

必要なユーティリティは電気か。

（回答）

稼働当初は基本的に自社発電で賄っていく。投入物をガス化炉の中でチャー化させて、それを熱源としていく仕組み。

（質問）

水素の純度はどの程度か。また、ガス分離機は既に導入、利用されているのか。

（回答）

水素に関しては投入物によるが、生成量は平均で有機性廃棄物投入量の10％程度、純度は99.9％以上を保っている。アメリカの設備ではガス分離機を導入、利用している。

以　上